

政策 05 環境と調和したまちづくり

施策 02 地球にやさしい生活の推進

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿
市民・事業者・行政それぞれが、地球環境にやさしい生活・活動を行っています。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	地球環境にやさしい取り組みの平均実践項目数(全20項目中)(項目) 【環境課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対
		(H30)	(R02)	(R03)	(R05)	基準値
		7.9	-	8.08	9	☀️ (向上)
評価	(状況) R元年度の実績値(8.95項目)に比べ、現状値が0.87項目減少した。 (原因) 風呂の残り湯の利用、生ごみの堆肥化、花や庭木等の緑の生育についての回答が減少しており、住宅事情等により選択しない項目が増えたため。	(項目) 				対 前年度

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 環境保全のための教育・学習・実践

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	環境を考えた行動をしている児童生徒の割合 (%) 【学校教育課】	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対基準値
		87.9	88.9	89.7	91	☀️
評価	(状況) 前年度の実績値に比べ、現状値が0.8ポイント向上した。 (原因) 環境教育の成果が日常生活に活かされていることによるものである。					対前年度 ☀️ (向上)
						目標達成度 (---)

基本事業01 環境保全のための教育・学習・実践

指標	環境問題に関心を持って自ら学んでいる市民の割合 (%) 【環境課】	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対基準値
		29.2	-	23.4	30	☔️
評価	(状況) R元年度の実績値 (32.8%) に比べ、現状値が9.4ポイント減少した。 (原因) 新型コロナウイルス感染症によるイベントや講座の中止や定員制限により、市民の学ぶ機会が減少したことが要因である。					対前年度 ☔️ (低下)
						目標達成度 (---)

基本事業02 省エネ・再生可能エネルギーの利用促進

指標	省エネルギー、再生可能エネルギー設備を導入している市民の割合 (%) 【環境課】	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対基準値
		58.1	-	47.8	65	☔️
評価	(状況) R元年度の実績値 (59.4%) に比べ、現状値が11.6ポイント減少した。 (原因) 省エネルギー機器や再生可能エネルギーの利用が一般的となり、項目を選択しなかったことが原因である。					対前年度 ☔️ (低下)
						目標達成度 (---)

基本事業02 省エネ・再生可能エネルギーの利用促進

指標	再生可能エネルギーを活用している公共施設数 (件) 【環境課】	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対基準値
		15	15	15	15	☁️
評価	(状況) R元年度の実績値 (15施設) から変更はない。 (原因) H27年度の屋根貸し事業により、中学校2校、小学校3校、市役所及び文化会館に太陽光発電設備を設置し、グリーンニューデール事業により、消防本部に太陽光発電設備を設置したことにより後期目標値の15施設を達成している。					対前年度 ☁️ (横ばい)
						目標達成度 ☁️ (横ばい)

基本事業03 総合的な環境行政の推進

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	市の施設における温室効果ガス排出量 (tCO2) 【環境課】	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対基準値
			5,235	4,779	4,831	4,928
評価	(状況) 前年度の実績値に比べ、52tCO2増加した。 (原因) 休館により減少していた電気使用量が、緊急事態宣言解除後の利用再開により、通常どおりに戻ったこと及びコロナ対策と合わせて、全体で排出量が増加した。	(tCO2) 				対前年度
						☔️ (低下)